

一般質問



学校給食費完全無料化を！

安力川 信之 議員

質問 頑張った子が報われる、返済を減免できる洪川版奨学金の創設を。

教育長 努力を評価する仕組みについては検討に値するものですので、国の奨学金の動向を見据えながら、民間資金の導入を含め検討していきたいと考えています。

質問 来年度から学校給食費の完全無料化を。

教育長 給食費の無料化には、毎年多額の財源が必要となることから、引き続き、財源の見込みを十分精査し検討をしていきたい。

質問 家族がいても日中一人暮らしの方への見なし独居として、市として新たなサービスの充実を。また移動支援として、福祉有償運送事業を全市に展開すべき。

保健福祉部長 日中独居の方へのサービスは現在いくつかありますが、さらなる充実を今後も検討していきます。

質問 小学校で認知症キッズサポート 小学校で認知症キッズサポートについて同様に検討していきます。

1ター養成講座を。

保健福祉部長 養成講座の実施に向け、準備を進めています。

教育部長 認知症への理解を深めるため、取り組みたいと考えます。

質問 ゴミ減量化へアプリの導入を、またプラスチックゴミの分別の考えは。

市民部長 利用者の利便性につながることから検討をしていきます。また、分別については、実施に向けた協議を進めております。



給食の風景

措置入所制度とは

質問 財政的に厳しい生活環境の中で、施設入所を考えたとき、市の権限で入所を決める措置入所制度とは。また、その利用状況は。

保健福祉部長 この制度は精神障害や認知症また虐待などで、日常生活ができなく親族等の支援が得られない方を、市が養護老人ホーム等に措置するものです。現在県内8施設に45名入所しています。

質問 年金も支給年金額の引き下げ、受給年齢の引き上げと不安が多い。未納の状況は、将来的にもさらに厳しくなるのか。

市民部長 平成27年度の収納率は71%でした。年金制度は国の制度のため、市が将来の見通しを示すことはできない状況です。

質問 交通弱者のための市内循環型の無料福祉バス運行の考えは。

保健福祉部長 元気な高齢者やボランティア団体による交通支援などを考えており、近所の高齢者を



安心して暮らせる老後への施策

星野 安久 議員

買物や病院等に乘せていただけるような仕組みを検討しています。介護慰労金の引き上げを

質問 自分の親は自分で見ることが人としての基本である。こうした介護者に慰労金が支給されているが、今後の介護保険制度に対処するため引き上げる考えは。

保健福祉部長 慰労金は原則介護サービスを受けていない方が対象となります。現物支給ではなく必要サービスを使っていたら、在宅介護の負担軽減につなげていただきたいと思います。



全地域への運行が望まれる福祉バス

一般質問



どうする？これからの渋川

細谷 浩 議員

質問 渋川市の「農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想」が見直されるが、その目的は。

農政部長 将来の農業ビジョンを描き、農政を推進していく目標について、基本的な方向等を示すもので、近年の農業情勢等の変化に即した見直しを行ったものです。

質問 基本構想の中に、農業所得の年間目標が、主たる従事者は400万円、1経営体で630万円とあるが、その算出根拠は。

農政部長 農業後継者が農業を職業として選択し、他産業と同等の所得等を示すため、群馬県内の勤労者世帯収入の統計データを基に算出したものです。

防災・減災対策
質問 全戸に配布されたハザードマップの活用方法は。

総務部長 家庭では、災害への備えの資料として、地域では、危険箇所や避難所の確認、避難経路決定に活用することを推進します。
質問 市民に情報を伝える手段として防災行政無線が使われている

が、聞き取りにくい市民への対応は。また情報を伝える他の手段は。

総務部長 防災行政無線自動応答サービス(21122)や、ほつとマップメール、ホームページに加え、災害時は車両広報を行い、正確な情報提供に努めます。

質問 市内全自治会に組織された自主防災組織に期待することは。
総務部長 災害時に地域の人たちがお互いに力を合わせる「共助」の活動によって、要配慮者対応や避難所運営を行うなど、地域防災力の向上が期待されます。



大雨による土砂災害



子育て支援の充実について

山内 崇仁 議員

子育て支援の充実について

質問 各地で妊婦健診結果や子どもの成長記録をインターネット上で管理する「電子母子健康手帳」が始まっている。渋川市の対応は。

保健福祉部長 現在サービスを行っている前橋市の具体的な取り組みや、導入方法を参考にし、近隣の市町村の状況を見ながら検討していきます。

質問 子育て支援拠点施設の事業はどのように展開していくのか。

保健福祉部長 子育て親子が気軽に集まり、遊びを通して交流を深める場所として、またコンシェルジュによる窓口を充実させます。

質問 子育て支援体制にはさまざまな部門が関連しているが、情報共有、連携はどう進めていくのか。

保健福祉部長 事業の実施には、関係機関で運営会議を重ねること、情報共有、連携できる体制づくりを検討し、市民が利用しやすいサービスを目指していきます。
質問 「のびのび発達相談」「のび

のび発達教室」を開設したが、本市独自の支援センターの計画は。

保健福祉部長 独自の児童発達支援センター設置の計画はありませんが、群馬県発達障害者支援センターの相談待機児の状況を踏まえ、設置の必要性を研究します。

質問 障害分野・児童分野・生活困窮等多岐にわたる分野の連携が必要となるが行政としての見解は。
保健福祉部長 それぞれの分野がさらに連携意識を高め、すべての市民が関わる地域福祉ネットワークの体制づくりが必要と考えます。



電子母子健康手帳